**第３０回観察会　2005年９月27日(火) 12:00～12:55　晴れ**

**テーマ『秋のみどり』**

**☆ガイドレポート**

おだやかな天気に恵まれ、たくさんの方に集まっていただきました。今回は、「観察する」ということに重点をおきました。生物をただ眺めたり、ガイドの話を鵜呑みにしていたのでは、京大植物園のせっかくの機能を活かしきっているとは言えません。ここは、植物や動物を手にとり、じっくりと観察することができる空間なのです。観察する心を曇らせる原因として、「実りの秋」というフレーズがあります。秋はたしかに実りの季節です。しかし、単に実りの季節にすぎないのでしょうか。「実り」に目を奪われて、植物のそのほかの活動を見落としてはいないでしょうか。

当日は、京大植物園を象徴する木々を中心に見てまわることにしました。１．チャンチンモドキ、２．ユクノキ、３．オオモクゲンジ、４．イヌカラマツ、５．ブナ科植物（どんぐり類）です。資料に、チャンチンモドキとイヌカラマツをとりあげた、京大生協教職員情報号の２００５年９月号をもちいました（http://www.s-coop.net/faculty/0509/3.htm）。

チャンチンモドキは、日本では現在、熊本と鹿児島の一部にしか分布しません。保育社や平凡社の植物図鑑でも、写真などの材料として京大植物園のチャンチンモドキがもちいられています。とくに入口に１本立つ大木は雌株で、毎年たくさんの果実をつけます。今年もたくさん結実したようです。しかし、その果実がその後どうなるかもポイントです。毎年実生がたくさん見られるのです。今回の参加者の方々にもまわりを探して見つけていただきました。しかし、この１，２年で園内の草刈りの頻度が高くなったので、次の年まで育つ実生はほとんど無くなりました。残念なことです。

ユクノキは今年一斉開花しました。その花の後にユクノキを観察した人はほとんどいないようですが、今年は驚くほどよく結実しています。果実（豆のさや）ごと風で種子を散布していますので、みなさんにも探していただきましたが、種子の入ったさやはなかなか見つけられなかったようです。ユクノキはもう黄葉と落葉を始めていました。黄葉を見ながら、来春の実生の生長に思いをはせましたが、やはり、過度の草刈りによる撹乱が気がかりです。

オオモクゲンジはちょうど開花中でした。小さくて黄色い花がたくさん落ちていましたが、咲いている花は木の高い枝にあるので見つけにくかったようです。一つ一つはごく小さい花ですが、中心に赤い部分があり蜜標（昆虫を誘引するための目印）として機能しています。果実はこれから晩秋にかけて風船状に熟し、風に飛ばされて種子が散布されます。

イヌカラマツも、たくさん結実していました。枝先にもたくさんの球果があり、地面にもたくさん落ちていました。イヌカラマツはマツ科なので、球果は「松ぼっくり」によく似ていますが、これもなかなか見つけていただけませんでした。イヌカラマツはこれから美しく黄葉します。今年の８月に周辺でタケの地下茎を伐る工事が行われたので、イヌカラマツの根系へのダメージが心配ですが、この思いを共有できる人は、今の京大にはほとんどいません。

最後にブナ科のどんぐりゾーンに足を踏みいれました。アベマキなどのどんぐりが少し落ちていましたが、スダジイなどはまだ枝先で熟している最中のようで、成熟した果実はあまり見つけられませんでした。「どんぐりを食す」観察会には、時季が早かったようです。

このように、植物がちがえば、秋のむかえ方もちがうのです。言葉にすると当たり前のことに思えますが、短時間にもそれを体験できるのが、京大植物園の良さであり、懐の深さであると、あらためて感じました。来年以降もずっとそれが感じられる場所であるよう、祈るばかりです。

ガイド：今村彰生さん（大学共同利用機関法人総合地球環境学研究所）

**☆参加者の感想**

参加者の感想文です。実名・匿名の指定がないかたはすべて匿名にいたしました。ご了承ください。

* 植物や植物園はいつまでも変わらずに続くものと思っていたが、人為によりもろく変わりやすいものであることを知りました。　　（京大教員のかた）
* 植物図鑑が物置きから台所へと引越して来ました。日常に本をめくっていけるのはよいものだとおもっています。　　　　　　　　（近所のかた）
* 知らない木々の名前や実を知ることができて、有意義だった。楽しかったです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（京大職員のかた）
* 日ごろ勝手に散歩していますが、ガイドさんの説明していただくと木々の名前を覚えられるので、参加して良かったと思います。　　（京大理学部院生のかた）
* 京大にこのような大きな植物園があるとは知りませんでした。とても良いことだと思います。（町中にたくさんの植物があるところがすてきですね。)シンポジウムもまたして下さい。スカートで来てしまったので蚊にたくさんくわれてしまいました。　　　　　　　（近所のかた）
* 説明がおもしろくよくわかった。　　　　　　　　　　　　　　（地球環境研　市川昌広さん）
* 楽しかったです。次回も参加したいです。資料がなくて残念。　　（京大情報学研究科職員のかた）
* 今村さんの「観察」に重点を置いたガイドが良かったです。イヌカラマツの球果はとてもエレガント！！植物園内のシダ類を調査してみたいです。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* Thank you very much for this clever walk in the botanical garden. It is my first stay in Japan and you have introduced me some plant species of Japan. It was also very interesting for me because I have to know certain of these plant speacies for my own work with macaques. Thank you again. （理学部人類進化論留学生のかた）
* 今村さんの話は、やはり巧妙だと思いました(笑)。いろいろな植物を見れて楽しいです。どんどん覚えたいと思います。　　　　　　　（農学部昆虫生態院生のかた）
* チャンチンモドキの種子の形がおもしろかった。穴がなんで５つあるんだろうなと思った。ハンミョウを見つけてちょっと嬉しかった。（農学部昆虫生態院生のかた）
* 秋のみのりじゃなくて秋のみどり観察会おもしろかったです。蚊にもいっぱい食われましたが、植物園のある間に心の目を養っておきます。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球環境研のかた）
* 実は多くの"へえー"が植物園にある事を、近くの建物にいながら気付いていませんでした。イヌカラマツ、また見にきます。　　　　（理学部動物人類進化論　清野未恵子さん）
* 植物を観察するのに、大人になった木の葉のみを観るのでなく、種子や実、さらにこれらから新たに出る芽も観察する、という視点をもつということを今回知りました。とても有意義でした。　　　　（学外のかた）
* ガイドの方の話をききながらの観察は、本や図鑑だけを頼りに独学でするよりもわかりやすく、興味のわき方もひときわですね。　　　　　　（実名OKなのにお名前が書いてない近所のかた）
* ゆくの木の実をはじめてじっくりみた。　　　　　　　　　　　　（近所のかた）
* 久しぶりに楽しかった。チャンチンモドキの幼木があんなに可愛いとは思ってませんでした。 （地球環境研　宮島敏明さん）
* －Miss visit of green house ＋ Name of trees in garden are full and nice（留学生のかた（Master Botany））
* 様々な地域に生育している植物がこの植物園では一度に見られたのでお得でした。 （生態研センター　辻野亮さん）
* イヌカラマツのまわりをみてびっくり。むこうの景色がみえるくらい草かりがされていた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　（地球環境研　瀧野佳洋子さん）
* 色々な植物を拝見致し大変勉強になり、四季の木々の様子を今后勉強したいと思います。今后とも宜しくお願いいたします。 （近所の京大職員のかた）